

令和 8（2026）年度

学習院大学大学院 博士前期課程（秋期）

人文科学研究科・哲学専攻

入学試験問題

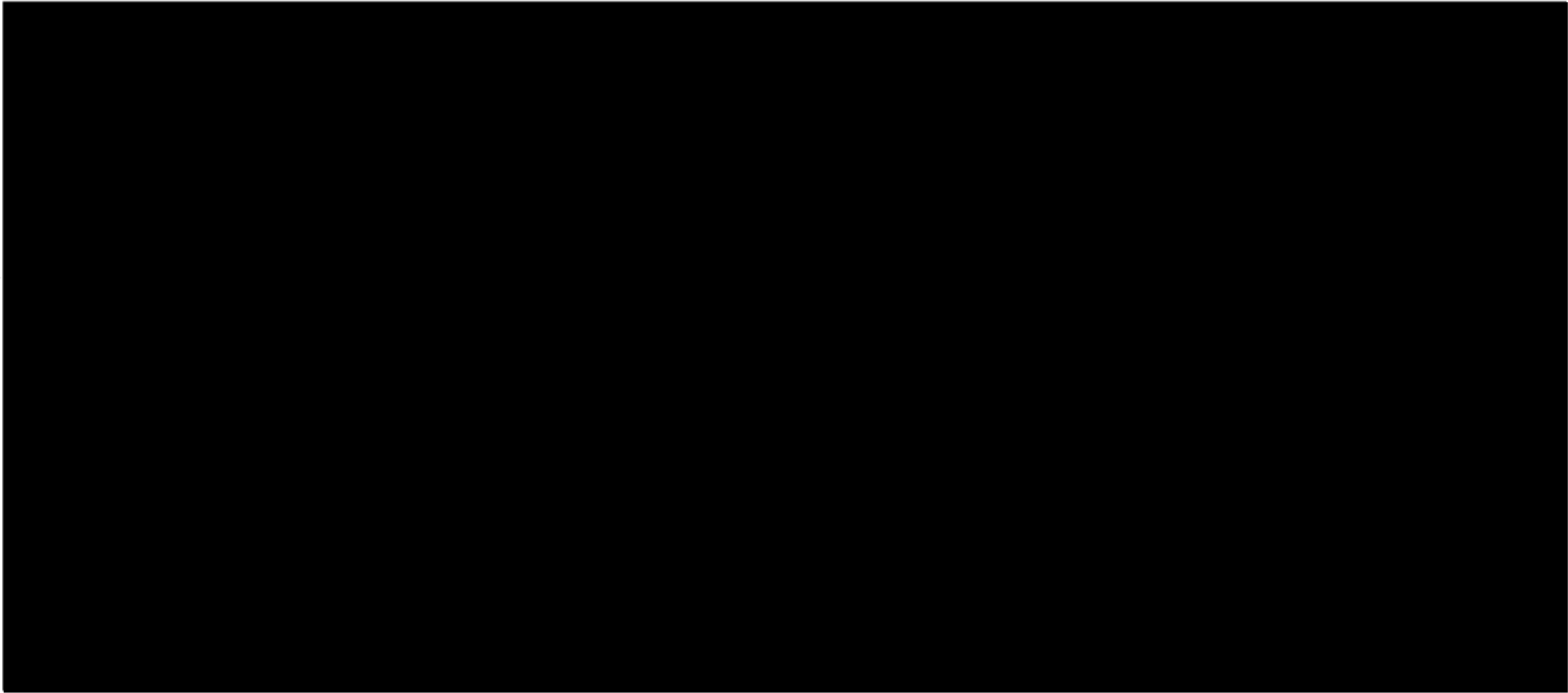
9：00～10：00 哲学史及び思想史
10：20～12：20 外国語原書読解
13：10～14：10 論文

※外国語原書読解のドイツ語・フランス語・漢文は、選択者がいないため、問題はありません。

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語原書読解 (英語) 【試験時間】10:20~12:20		備考	問題用紙 (1) 枚中 (1) 枚目		採点欄	

(1) 以下の英文を和訳してください。



(Stephen Gaukroger, *Objectivity: A Very Short Introduction*)

(2) 以下の英文を和訳してください。



(David Hume, *Essays, Moral, Political, and Literary*, Eugene F. Miller (ed.))

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

[illegible]

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏 名	
試験科目	外国語原書読解 (古典ギリシア語) 【試験時間】 10:20～12:20		備考	問題用紙 (1) 枚中 (1) 枚目		採点欄	

I．次の全文を和訳しなさい。（設問の都合上、出典情報は記載していない。）

II．次の全文を和訳しなさい。（設問の都合上、出典情報は記載していない。）

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		力ナ	
						氏 名	

試験科目	外国語原書読解 (古典ギリシア語) 【試験時間】 10:20～12:20	備考	解答用紙 (1) 枚中 (1) 枚目	採点欄	
------	---	----	--------------------------------------	-----	--

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏 名	
試験科目	外国語原書読解 (古典ラテン語) 【試験時間】10:20~12:20		備考	問題用紙 (1) 枚中 (1) 枚目		採点欄	
I. 次の全文を和訳しなさい。(設問の都合上、出典情報は記載していない。) * 哲学のこと II. 次の全文を和訳しなさい。(設問の都合上、出典情報は記載していない。)							

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語原書読解 (古典ラテン語) 【試験時間】10:20～12:20		備考	解答用紙 (1) 枚中 (1) 枚目		採点欄	

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語原書読解 (日本語) 【試験時間】10:20～12:20		備考	問題用紙 (2) 枚中 (1) 枚目		採点欄	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

我々は経験によって環境に適応してゆく。環境に対する我々の適応は、本能的或いは反射的でない場合、「試みと過ち」の過程を通じて行われる。この試みと過ちの過程が経験というものである。経験するというのは単に受動的な態度でなく、試みては過ち、過っては試みることである。経験という言葉は何か過去のことを意味する如く理解され易く、既に行われたことの登録、先例に対する引き合せが経験の本質であるかの如く信ぜられている。経験論の哲学も経験を「与えられた」もののように考えた。しかし経験は試みることとして未来に関係付けられている。試みるというのは自主的に、予見的に行うことであって、かような経験には知性が、その自発性が予想される。自発的な知性がそこに働くのでなければ、試みるということはない。経験は試みることとして直接的でなく、すでに判断的であり、推論的であるとさえいい得るであろう。もちろん経験は単に思惟的でなく、却ってその本質において実験的である。すべての経験は実験である、ただ経験には科学における実験の如き方法的組織的なところが欠けており、従ってそれは偶然的である。実験が技術的であるように、経験もすでに技術的である。経験において、我々は試みては過つ、過つということはいわば経験の本性に属している。本能はそれ自身に関する限り過つことのないものであるが、経験においては過ちがある。しかもそこに経験の価値があるのであって、過つことによって我々の知識は本能の如く直接的なものでなく反省を経たものになってくる。誤謬の存在によって我々の知識は媒介されたものになるのである。試みと過ちの過程において我々は正しい知識、正しい適応の仕方を発明する。経験は発明的である。それが発明的であるということは、経験が主観的・客観的な過程であることを意味している。試みと過ちとは主体と客体とが相互に否定し合う関係であり、かような対立の統一として経験的知識は成立するのである。

しかし経験は行為に関するものとして、そこに行為の形が形成されてくるであろう。この形は技術的な形である。形は全体性であり、行為の形は行為が主体と環境との間における成全的活動であるところに生ずるのである。環境は主体に作用し逆に主体は環境に作用し、二つの作用が関係することの間における結合として行為は成全的活動であり、この結合は機械的でなく、創造的総合である。しかも行為が形をもつということは、主体と環境との作用の間におけるこの結合が主体の側において、まさに行為そのものにおいて成全するところから生ずるのである。主体は単なる環境に対して反応するのではなく、却って環境プラス主体に対して、言い換えると主体によって変えられた環境に対して反応するという意味において、その反応は循環反応と称せられる。行為は循環反応として自己創造的な斉合性をもっている。行為の自律性もそこに考えられねばならぬ。行為の形はその自律性の表現であり、(A)もし行為が自律的でないならば、行為は形をもつことができぬ。しかし行為の自律性を環境から離れて単に主体から考えることは抽象的である。形は主観的なものと客観的なものとの統一である。主体と環境とは互に他を新たに作り、両者の関係も新たに作られ、行為の成全作用は創造的である。環境に対する主体の適応は発明的であって、行為の形も無意識的にせよ発明に属している。それは技術的な形として機能的意味をもっている。それは機能を組織したものであり、機能を表現するものである。

しかるに経験において行為の形が作られる場合、そこに習慣が作用するであろう。習慣は均衡の形式であり、主体と環境との間における持続的な適応として生ずる。行為が習慣的になることによって行為の形は作られる。習慣は発動機械の、行為の図式の構成である。我々の行為が習慣的になるのは、主体が身体的なものであって、自然から抽象

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語原書読解 (日本語) 【試験時間】10:20～12:20		備考	問題用紙 (2) 枚中 (2) 枚目		採点欄	

された精神の如きものでないということに依るのである。習慣は「第二の自然」と呼ばれているが、それは機械的必然的なものではない。習慣も行為的なものであり、習慣を破ることができるものであって習慣を作ることができる。その自然のうちには自由が喰い入っており、しかしまたその自由のうちには自然が流れ込んでいる。経験から習慣が生じてくる。経験は試みと過ちによる適応であり、これは習慣形成の一つの主要な形式である。既にいった如く経験は未来との結合を含むが、それはまた過去との結合を含み、むしろこのために経験といわれるのである。経験は我々の積んでゆくものであり、積まれたものが経験である。そこから習慣が生ずるのである。習慣的になることは行為が自然的になること、惰性的になること、従って受動的になることであるが、同時に行為はその自発性において高まる。我々の行為が習慣的になることが全くないとしたならば、我々の生活は如何に不自由であろう。習慣は受動性であると同時に自発性である。習慣は有機的生命の受動性のうちに浸透してそこに樹てられる自発性の発展である。

(三木清『哲学入門』)

【問い】

1

文中の「(A)もし行為が自律的でないならば、行為は形をもつことができぬ」というのはどういうことか。解釈も含め、あなたなりに説明しなさい。

2

以上の文章は、「経験」が知識の重要な源泉であることは認めた上で、しかし、「経験」を感覚印象の受容として理解するような「経験論」については批判するものである。次の点について、著者の見解がどういったものであるのかを、適宜自分の言葉も用いながら、説明しなさい。

- a) 「経験」は、どのように理解されねばならないか。
- b) 「習慣」とは、何か。

解答は、「解答用紙」に記入すること。

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	哲学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語原書読解 (日本語) 【試験時間】10:20~12:20		備考	解答用紙 (1) 枚中 (1) 枚目		採点欄	

1：「(A)もし行為が自律的でないならば、行為は形をもつことができぬ」というのはどういうことか。

2 a)「経験」は、どのように理解されねばならないか。

2 b)「習慣」とは、何か。